

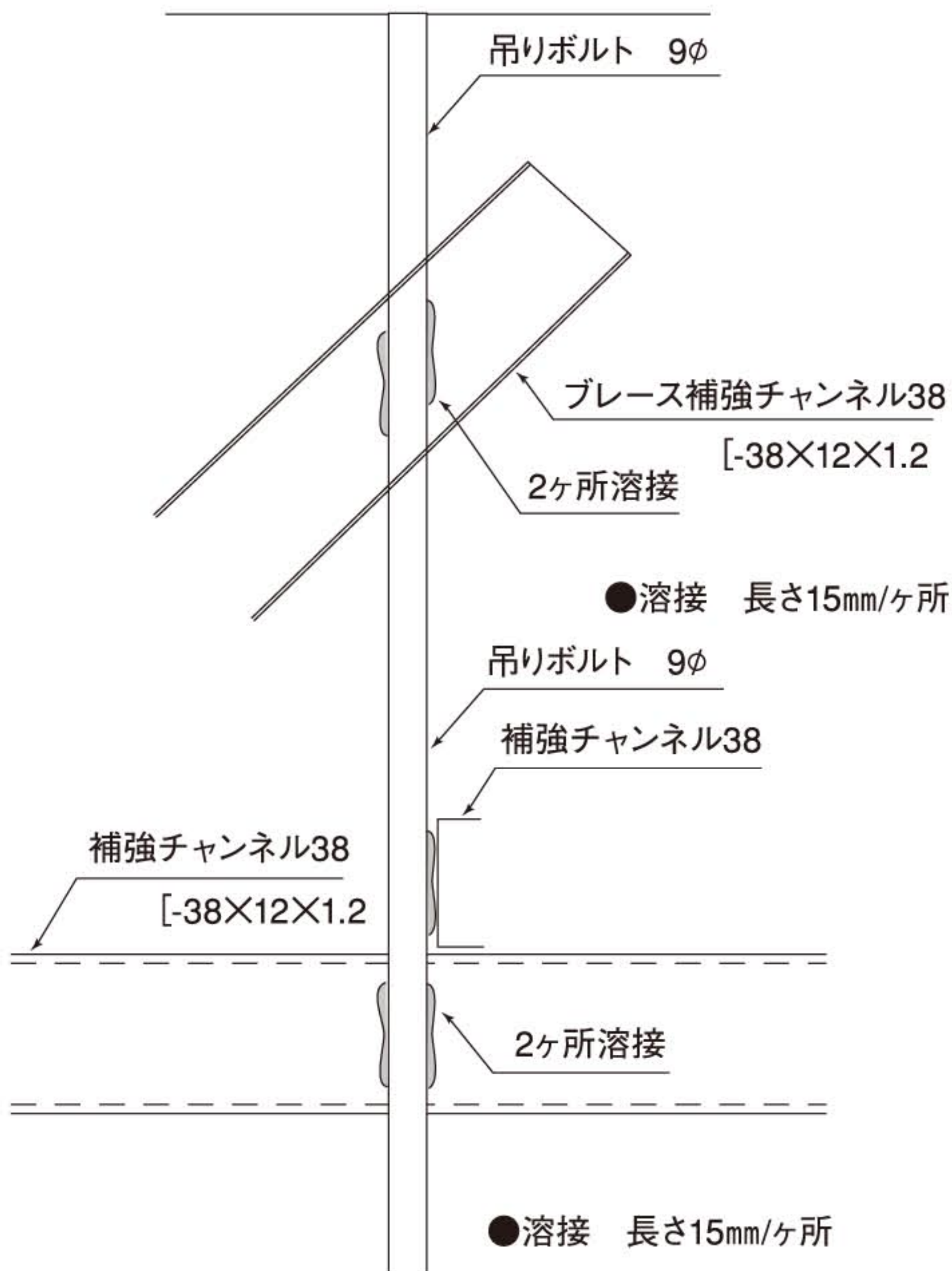
# 天井下地材の耐震補強

## ■水平補強・斜め補強

吊りボルトの長さが1.5m以上の場合は、1.5m以内に水平補強を設け、各段に斜め補強を配置する。

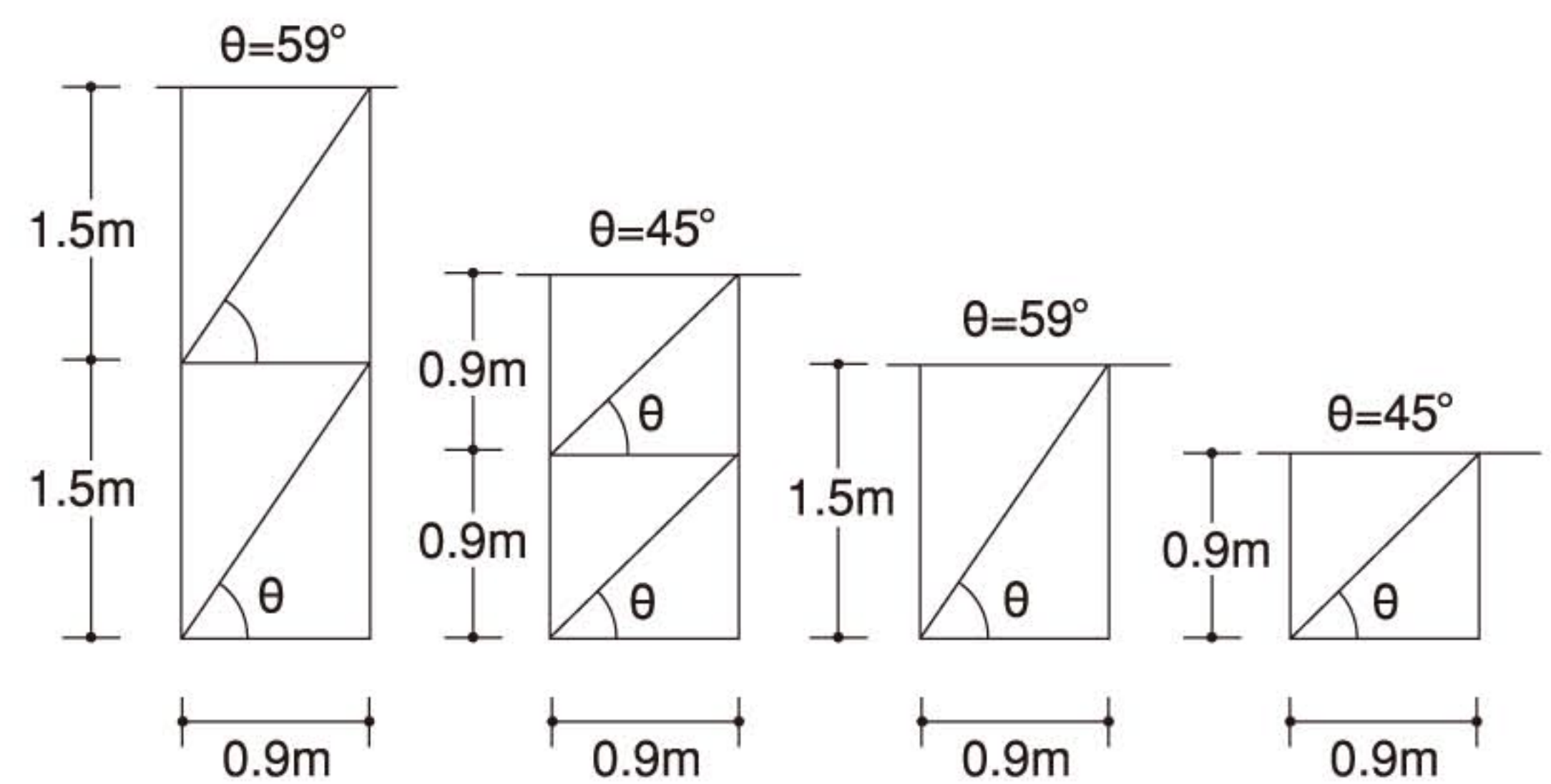
斜め補強（ブレース）、水平補強の部材はC-38×12×1.2mm以上とする。

補強材の固定方法は溶接または金物によってもよい。溶接の場合は溶接部、のど厚4mm以上、長さ15mm以上、2ヶ所とする。その一端を端部に固定する。金物の場合は、金物の強度及び耐震性を有する金物とする。

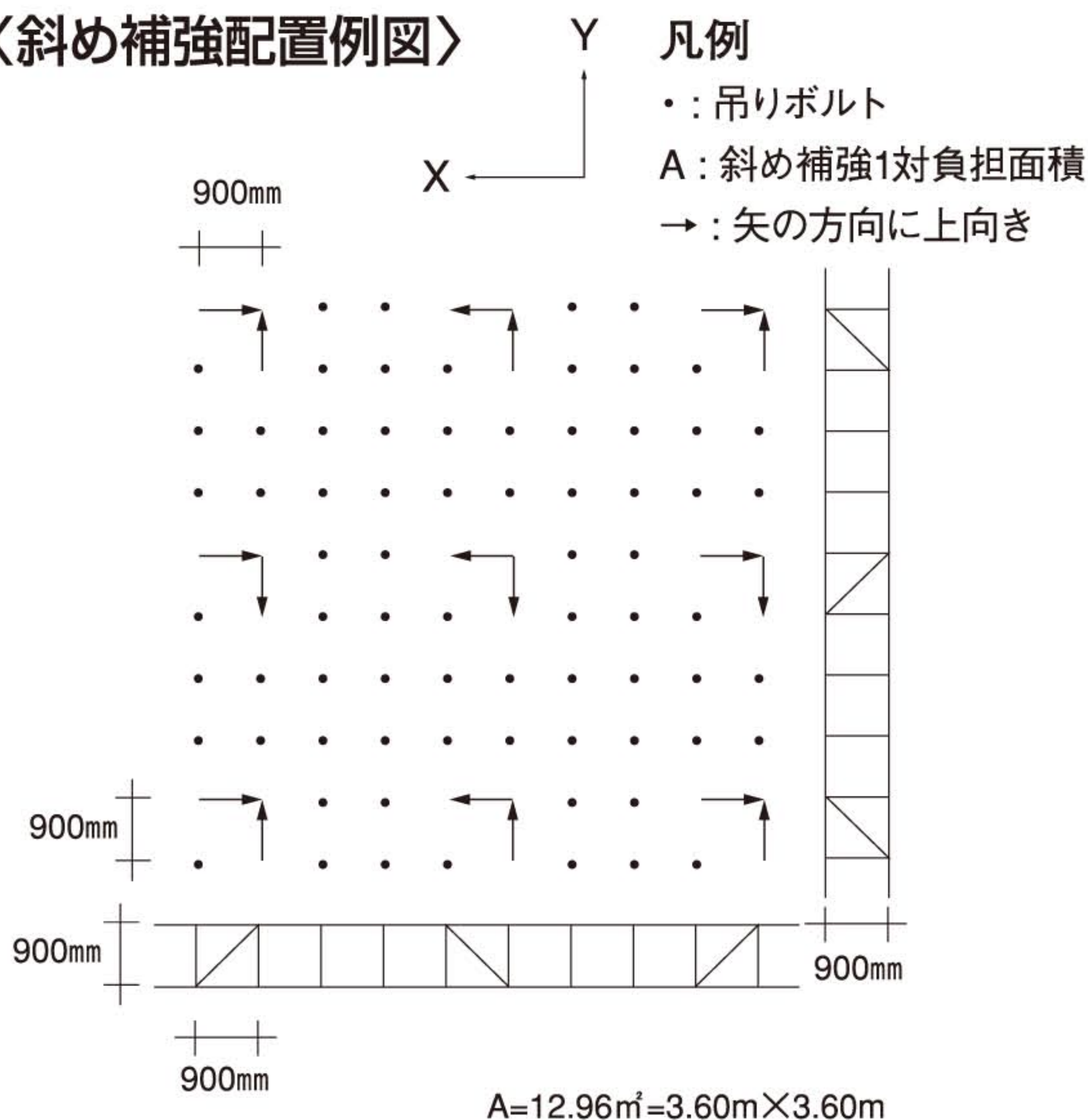


### 〈斜め補強・ブレースの角度〉

- 1) 斜め補強・ブレースの角度は、45度～60度の範囲に設計すること。45度が最も効果がよい。
- 2) 天井のふところの高さは、3.0m程度を限度とする。また、水平補強は、1.5m毎の2段とする。



### 〈斜め補強配置例図〉



### 〈斜め補強設置量 (㎡毎に1対)〉

天井重量 (kg/㎡)	斜め補強 角度	
	45度 (㎡)	60度 (㎡)
20	11.06	7.82
19	11.64	8.23
18	12.29	8.69
17	13.01	9.2
16	13.83	9.78
15	14.75	10.43
14	15.8	11.17
13	17.02	12.03
12	18.44	13.04
11	20.12	14.22

斜め補強はX方向、Y方向にそれぞれバランスよく均等に13㎡以内に1対（1組）以上設ける。